

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	らぶらんどカフェ
住所	熊本市中央区水道町14-26
電話番号	050-3578-1395

事業所番号	4310101888
管理者名	中村淑代
対象年度	令和6年度

(I) 労働時間		点
①1日の平均労働時間が7時間以上		
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	○	
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		

①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点

(IV) 支援力向上（※）		点
①研修計画に基づいた外館研修会又は内部研修会 参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表 1回以上の場合	○	
③視察・実習の実施又は受け入れ いずれか一方のみの取組を行っている		
④販路拡大の商談会等への参加 1回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度 人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している		
⑥ピアサポーターの配置 ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価 過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等 都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）	3	点

（※）B項目の合計点に応じた点数 （注2）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

(II) 生産活動		点
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		

①80点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点

(V) 地域連携活動		点
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	

1事例以上ある場合：10点

(III) 多様な働き方（※）		点
①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度 就業規則等で定めている		
②利用者を職員として数用する制度 就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律 就業規則等で定めている	○	
④フレックスタイム制に係る労働条件 就業規則等で定めている		
⑤時間勤務に係る労働条件 就業規則等で定めている		
⑥時差出勤制度に係る労働条件 就業規則等で定めている	○	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度 就業規則等で定めている	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項 就業規則等で定めている	○	
小計（注1）	5	点

（※）B項目の合計点に応じた点数 （注1）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

(VI) 経営改善計画		点
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	

期限内に提出していない場合：-50点

(VII) 利用者の知識・能力向上		点
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	

1事例以上ある場合：10点

項目	点数	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点
労働時間	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点	
生産活動	-20点	-10点	20点	40点	50点	60点			
多様な働き方	0点	5点	15点						
支援力向上	0点	5点	15点						
地域連携活動	0点	10点							
経営改善計画	0点	50点							
利用者の知識・能力向上	0点	10点							

合計	130	点 / 200点
----	-----	----------

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

(Ⅰ) 労働時間					
前年度（年度）					
雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	7897.5	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	1,938	人
			利用者の1日の平均労働時間数	4.07	時間
(Ⅱ) 生産活動					
会計期間（令和6年4月～令和7年3月）					
前々々年度（令和4年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	5,870,837	円	利用者に支払った賞金総額	7,984,812	円
			収支	▲ 2,113,975	円
前々年度（令和5年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	8,806,174	円	利用者に支払った賞金総額	7,984,812	円
			収支	9,001	円
前年度（令和6年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	8,028,401	円	利用者に支払った賞金総額	8,020,180	円
			収支	8,221	円
(Ⅲ) 多様な働き方					
前年度（年度）における取組（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）					
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		②利用者を職員として登用する制度		③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律	
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を定めている <input type="checkbox"/>		②利用者を職員として登用する制度を定めている <input checked="" type="checkbox"/>		③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている <input checked="" type="checkbox"/>	
④フレックスタイム制に係る労働条件		⑤短時間勤務に係る労働条件		⑥時差出勤制度に係る労働条件	
④フレックスタイム制に係る労働条件を定めている <input type="checkbox"/>		⑤短時間勤務に係る労働条件を定めている <input checked="" type="checkbox"/>		⑥時差出勤制度に係る労働条件を定めている <input checked="" type="checkbox"/>	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		⑧傷病休暇等の取得に関する事項			
⑦有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている <input checked="" type="checkbox"/>		⑧傷病休暇等の取得に関する事項を定めている <input checked="" type="checkbox"/>			
(Ⅳ) 支援力向上					
前年度（年度）における取組（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）					
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		②研修、学会等又は学会誌等において発表		③視察・実習の実施又は受け入れ	
①研修計画を策定している <input type="checkbox"/>		②研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している <input checked="" type="checkbox"/>		③先進的事業者の視察・実習の実施している <input type="checkbox"/>	
①外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。 <input checked="" type="checkbox"/>		※研修、学会等名 A型事業所継続研究会・研究発表会		※先進的事業者名	
※研修名 虐待防止・身体拘束の適正化		実施日 令和7年1月29日		実施日/参加者数 月 日 人	
研修講師 精神保健福祉士 木村良子		※学会誌等名		※他の事業所名	
実施日・受講者数 令和6年10月17日 4人		掲載日 月 日		実施日/参加者数 月 日 人	
発表テーマ 仲間と作るA型の未来		発表テーマ			
④販路拡大の商談会等への参加		⑤職員の人事評価制度		⑥ピアサポーターの配置	
④販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。 <input checked="" type="checkbox"/>		⑤職員の人事評価制度を整備している <input type="checkbox"/>		⑥ピアサポーターを配置している <input type="checkbox"/>	
※商談会等名 おとなりマルシェ		⑤当該人事評価制度を周知している <input type="checkbox"/>		⑥当該ピアサポーターは「障害者ピアサポート研修」を受講している <input type="checkbox"/>	
主催者名 熊本市		人事評価制度の制定日 年 月 日		※配置期間 月 日～月 日	
日時 令和7年3月20日		人事評価制度の対象職員数 名		就業時間	
内容 年8回ほど参加		うち昇給・昇格を行った者 名		職務内容	
マドレーヌ・アクセサリー等の販売		当該人事評価制度の周知方法			
⑦第三者評価		⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等			
⑦前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている <input type="checkbox"/>		⑧ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている <input type="checkbox"/>			
※評価を受けた日 月 日		※認証を受けた日 月 日			
第三者評価機関		規格等の内容			
(Ⅵ) 経営改善計画					
⑩指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。 <input type="checkbox"/>					
※受理日 年 月 日					

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	らぶらんどカフェ	事業所番号	43010101888
住 所	熊本市中央区水道町 1 4 - 2 6	管理者名	中村淑代
電話番号	050-3578-1395	対象年度	令和 6 年度

地域連携活動の概要

<活動内容>	<活動の様子> 活動の様子の写真
<p>活動場所 シェアオフィスyard</p> <p>実施日程 毎週月曜日 朝10時～11時</p> <p>実施した生産活動・施設外就労の概要 オフィス内清掃</p> <p>利用者数 等 2人～3人</p>	
<p><目的></p> <p>地域連携活動のねらい 地域の企業との連携を通じ、障がい者の社会生活をより豊かにしていく</p> <p>地域にとってのメリット 共生社会の実現</p> <p>対象者にとってのメリット 経験を積んで行くことで一般就労に向けた自信へつながる</p>	
<p><成果></p> <p>実施した結果 作業スキルの向上と経験</p> <p>得られた成果 一人一人の自信に繋がる</p> <p>課題点 体調管理、より丁寧な作業と気配り</p>	

連携先の企業等の意見または評価

<p>連携した結果に対する意見または評価</p> <p>今後の連携強化に向けた課題</p>	<p>いつも丁寧な作業で大変助かっています</p>		
連携先企業名	合同会社yard	担当者名	町田

就労継続支援A型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	らぶらんどカフェ	事業所番号	4310101888
住 所	熊本市中央区水道町14番26号	管理者名	中村淑代
電話番号	050-3578-1395	対象年度	令和6年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p><活動内容></p> <p>活動場所 熊本市中央公民館 実施日程 令和7年3月14日</p> <p>実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要 無人航空機の操縦者技能証明制度取得者の指導のもと、ドローン体験会開催に向けて令和6年1月から計画～操作練習等を毎週行い、令和6年3月28日初開催。その後も毎週二回の実践練習に取組み、直近では令和7年3月14日に開催。ドローン操作方法や開催方法などのデモンストレーションの訓練を通じて知識や技術、経験を積む。</p> <p>利用者数 9名</p>	<p><活動の様子></p> <p>活動の様子の写真</p> 
<p><目的></p> <p>利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ドローン操作方法の知識や技術、経験を積み、コミュニケーション能力の向上で社会性を高める。 一般就労の可能性と自信に繋げる。 <p>利用者にとってのメリット</p> <p>一般就労や自立に向けての自信となり、今後の進路選択肢が増える。</p>	<p>成果物の写真</p> 
<p><成果></p> <p>実施した結果</p> <ul style="list-style-type: none"> チームとして業務分担して進めることができています。 <p>意見を伝え合うことで互いに認め合い、組織的なものが自然とでき上がっている。</p> <p>得られた成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 体力・持久力向上、継続する力がついた。 <p>課題点</p> <ul style="list-style-type: none"> 興味の薄い利用者にとどのように関わっていけるか。 練習場所の確保 	<p>活動内容の追加コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> 体験会として第三者を呼んで開催できるようになったことで、他者に楽しんでもらえる喜びを感じながら作業に取り組めるようになった。また、そのための企画力と自主性が向上し、更なる自信と一般就労に向けた進路に自身の可能性が実感できるようになってきた。

連携先の企業や事業所等の意見または評価

<p>連携した結果に対する意見または評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ドローンに触れることで興味を持ってもらい、基本操作に慣れ操縦の楽しさが体験できた。 役割分担を決めて連携して行動することで自らの自信につながり、コミュニケーション能力を高める訓練ができています。 ドローン操作体験会プログラムを遂行するために、協力して進めることができるようになってきた。 <p>今後の連携強化に向けた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 体験会参加者へ楽しさを伝えることを意識し、他人に伝えるコミュニケーション能力を鍛えていくプログラムの計画。 参加者への指導を通じて自らの意見を伝える力や、参加者の気持ちに配慮できる能力を高める活動内容の検討。 体験会プログラムを自ら考えることで、計画・企画・調整能力の育成。 	
連携先企業（担当者）	MPS（代表・三浦省一氏）

利用者からの意見・評価

<ul style="list-style-type: none"> ドローン操作の準備・設営を通して自主性を成長させることができた。 （ドローン体験会の）受付、ドローン機械接続、ドローン設営、会場設営を通してイベントの開催の仕方を学べた。 ドローン操作を教えることで、丁寧に優しい話し方ができるようになった。 ドローン操作技術が、デモンストレーションできる程度に向上した。 体験会3時間、休憩なしでできる体力がついた。 ドローンの教え方が、体験者によって変わるのがかかなり大変だった。 ドローン体験会でもっと協力的になり、周りに配慮する人間になりたいと思いました。 先生は、見守りながら支援し、悩んだ時は助言をくださり、正確で的確、分かりやすい教え方で素晴らしいです。 会場の扉の鍵を用意する所から、会計の領収書を預かる責任者まで全て自分たちでできるように自主性を教えてくれます。
--